

# 会 議 録

名 称	令和2年度 第2回 坂戸市社会教育委員会議
開催日時	令和2年10月27日(火) 午前10時00分 開会・ 午前11時15分 閉会
開催場所	坂戸市役所 2階 201会議室
出席者の氏名	大川 泰弘 委員、奥隅 一之 委員、金丸 行男 委員、 中村 博 委員、横田 恒雄 委員、田中 映子 副委員長、 鹿ノ戸 久美子 委員、杉田 義昭 委員、吉田 幸治委員、 小川 孝 委員長、横田 政行 委員 11名出席
欠席者の氏名	山崎 かど代 委員、石橋 妙子 委員、三田 量久 委員、 久保田 美穂 委員 4名欠席
傍聴者数	1名
事務局職員の職・氏名	坂戸市教育委員会 教育長 安齊 敏雄 坂戸市教育委員会 教育部長 清水 満夫 坂戸市教育委員会 次長兼社会教育課長 岡田 全弘 坂戸市教育委員会 副参与兼図書館長 近藤 猛 スポーツ推進課 課長 勝俣 敦 中央公民館 館長 間々田 征典 社会教育課 課長補佐 池田 敏子 社会教育課社会教育係 主任 山崎 功一
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 4 その他 5 閉会
配布資料	1 令和2年度 第2回 坂戸市社会教育委員会議次第 2 坂戸市社会教育委員会議名簿 3 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料番号1</span> 坂戸市子ども会育成会連絡協議会解散に伴う青少年健全育成について 4 坂戸市子ども会育成会連絡協議会等の現状について 5 令和元年度小学生を対象とした主な公民館・地域交流センター事業実績一覧 6 坂戸市立教育センターご案内 7 社教情報No. 83 8 社教連会報No. 87 9 図書館だより第199号 10 図書館だより第200号

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容
司会（事務局）	1 開 会
委員長 教育長	2 あいさつ
事務局	資料の確認
	※市民参加条例に基づく傍聴希望者は1名。入室。
議長：委員長	3 協議事項
	(1) 坂戸市子ども会育成会連絡協議会解散に伴う青少年健全育成について
事務局	<p>坂戸市子ども会育成連絡協議会（以下、「坂子連」）は、加入団体の減少、加入率の低下や役員の担い手不足のため、令和2年7月10日に解散した。今まで子ども会は、地域に根差した活動を行っていたが、坂子連が解散したことにより、今後の地域における青少年教育をどのように考えていくかが課題となる。</p> <p>そこで、「地域コミュニティと一体となった活動の推進について」と「小学生の公民館活動への参加促進について」を協議願いたい。</p>
委員長	地域コミュニティと一体となった活動の推進について、事務局説明
事務局	<p>坂子連は、心豊かでたくましく生きぬく子どもの育成を目指す子ども会の支援を目的に、昭和44年に設立された。今年7月の解散時には8団体であったが、昭和62年には95団体6,658人が加入していた。</p> <p>坂子連に加入していない単位子ども会は、現在把握できるのは、6団体である。近隣市町の状況は資料の表のとおりである。</p>

委員	坂子連の解散により、所属していた単位子ども会も解散するのか。
事務局	各単位子ども会は引き続き活動すると聞いている。
委員	坂子連の解散により何ができなくなるのか。また、他市の子ども会ではどのような取り組みがされているのか。
事務局	<p>8月に行っていたリーダー研修、12月に行っていたかるた大会については、坂子連が主催であったため、開催できなくなると考えられる。また、安全会互助会に加入することが原則できなくなる。そのため、ジュニアリーダーの養成についても難しくなると考えられる。</p> <p>子ども会の団体数が多い他市の例として、日高市では、地域の公会堂を子育て中の親や子どもの居場所づくりを進めるため、地域交流ひろば発足への支援を行っている。具体的には、開催準備や運営に関する費用の助成を行っており、現在2か所発足している。また、富士見市については、町会を中心に子ども会活動を行っており、市から各単位子ども会へ直接補助が交付されているとのことである。</p>
委員	なぜ浅羽野地区や大家地区の子ども会は坂子連に加入していなかったのか。
事務局	もともとは坂子連に加入していた。はっきりとした理由は分からないが、役員を選出が困難になったこと、独自の活動を進めたいとの考えから脱退したと考えられる。
委員	地区子ども会の取り扱いは
事務局	坂子連の下部組織として、各地区子ども会育成会連絡協議会があり、各単位子ども会は各地区子ども会育成会連絡協議会に所属するものとしていた。しかし、団体数の減少により、各地区子ども会育成会連絡協議会の維持が困難になったため、令和元年度に規約を改正し、各単位子ども会が直接坂子連に加入するものとなった。なお、浅羽野地区及び大家地区についてはそのような取扱いになる前に抜けたため、地区子ども会の名称がそのまま残っているものと

委員長	<p>考えられる。</p> <p>浅子連は様々な活動を行っているというが御存じの方はいるか。</p>
委員	<p>公民館や体協と共催して事業を行っているほか、長野県信州中野市との宿泊交流事業を行っている。また、地区の人が育成会をつくって子ども会を応援していると聞いている。</p>
委員長	<p>浅羽野地区子ども会育成会連絡協議会や大家地区子ども会育成会連絡協議会へ市の補助金は支出していないのか。</p>
事務局	<p>市から補助は行っていない。</p>
委員	<p>浅羽野地区子ども会育成会連絡協議会へは自治会の区費から支出があるようだ。</p>
委員長	<p>大家地区各地区子ども会育成会連絡協議会は解散したのか。</p>
事務局	<p>大家地区各地区子ども会育成会連絡協議会から社会教育課あてに今年3月をもって解散するとの通知があった。</p>
委員	<p>坂戸市立児童センターは市内に4館ある。他市と比べると多く、東松山市の社会教育委員から子どもの居場所あってうらやましいと言われたことがある。女子栄養大や、大東文化大、坂戸高校などと連携をし、事業を行っている。また、センターではまつりも行っていて、多いところでは800人ほども来館がある。民生委員、大学生、地域のボランティアがまつりの運営を手伝っている。センターは年間7万人の利用者がある。そのうち、小学生の利用は約48%、中学生約2%である。</p> <p>ジュニアリーダーに認定された方についても児童センターで活躍してもらえれば良いと思う。</p>
委員長	<p>児童センターが多くの事業を行っていることが分かった。児童センターの所管はどこか。</p>

事務局	所管は福祉部子育て支援課である。
委員	ジュニアリーダー養成研修、かるた大会、ジュニアリーダーについての方向性はあるのか。
事務局	現在のところ、ジュニアリーダー養成研修等の開催は難しいが、今まで蓄積されていたノウハウが生かせるよう、今後検討していきたい。
委員長	私の地元では隣の地区と合同で地域の子ども会を作っている。それぞれの区費から活動費を支出し、地域の活動を行っている。ただ、負担感から坂子連に加入することはなかった。同様に活動している子ども会はあるのではないかと考える。
委員長	続いて小学生の公民館活動への参加促進について、事務局説明。
事務局	資料には、令和元年度に公民館・地域交流センターが行った、小学生を対象としている事業を抜き出している。なお、体育協会各支部と共催の事業も含まれている。
	中でも、北坂戸公民館で行っているわんぱく相撲は西入間青年会議所との共催でおこなっており、185名もの参加者が集まった。また、浅羽野公民館では地区子ども会に協力いただいて、ペタンク大会やマラソン大会などを実施している。
	現状でも多くの子ども達が公民館事業に参加しているが、今後子ども会が減少していく中で、引き続き公民館事業に子ども達が関わっていくようにしていくことが求められると考えられる。
委員	坂戸市文化団体連合会では、夏休みに、子どものための文化体験教室として中央公民館、入西地域交流センターを会場として実施している。5年ほど行っているが、約200～300人の親子が参加している。
	また、出前講座として5回ほど学校に出向き、書道や音楽を生徒に教えている。

委員	<p>いずれも学校に案内を出し、参加者を募集していることから、学校の協力は欠かせない。</p> <p>坂戸市文化団体連合会の活動は本当にありがたい事である。子ども達の居場所、地域の方々とのふれあいという点で貴重な機会である。</p>
委員	<p>今の子ども達は習い事をしている子が多いが、その一方で習い事をしていない子どもや共働き世帯の子どもの居場所として、児童センターには大変お世話になった。様々な人とふれあえるので、コミュニケーション能力を養う場としても重要である。</p>
委員	<p>わんぱく相撲では多くの子ども達に参加してもらっているが、引き続き実施していきたい。10月には入西地域交流センターにおいて、ドライヤーを分解し、子どもの感性を磨く事業を行った。予想に反しすぐに定員がうまり、今年はコロナで体験活動の多くが中止になっているため、体験の場を求めているのだと感じた。単純にチラシをまくだけではなかなか参加者は集まらないので、PRの仕方が大切だ。</p>
委員	<p>子どもに興味を持ってもらうというのは大切である。子ども大学では自然科学の分野も実施するが、日常生活と関係が薄い分野であるので、このような場で興味を深めてもらいたいと思っている。</p>
委員	<p>コロナのため現在活動はしていないが、子ども達が参加できるような講座も考えている。しかし、体協の支部によって温度差があるように感じている。推進員の派遣依頼について、活用してもらえればと思う。</p>
委員	<p>体協の支部は公民館にあって、各地区から体育委員が選出されているため、地区を網羅した活動ができていると思う。</p>
委員長	<p>スポーツ推進員は公民館事業などで率先して活動していただいているが、地域でのスポーツ推進員の認知度はまだ</p>

委員	<p>まだ低いと思われる。支部長会議や体協本部のなかで、地域の中での活躍について協議頂くのがよいかと考える。</p> <p>ガールスカウト埼玉県連盟第70団は結成して25年になるが、年々参加者集めは厳しくなっている。現在は6名である。今年度は新型コロナウイルスのため、外での活動が中心となっている。保護者の中には、迷惑がかかるのではないか、役員の割り当てがあるのではないかなどを考え、子どもを預けることによりかなり身構えている人も多い。人数の減少は、埼玉県だけでなく全国のガールスカウトでも問題になっている。</p>
委員	<p>ジュニアリーダーについては、何らかの形で活躍できる場を残してほしい。また、事業への参加だけでなく、企画立案への参画なども考えてほしい。</p>
事務局	<p>ジュニアリーダーは全国子ども会連合会が作った制度のため、同じ名称を使用することは難しいと考える。地域行事へのボランティア活動などについて調査研究してまいりたい。</p>
委員	<p>平成30年度の関東甲信越社会教育研究大会において、異文化・異世代・地域づくりが公民館職員に求められる役割だという話があった。その話をした方は、公民館勤務20年という事だったが、坂戸市の公民館職員は短期間で異動しているように感じる。</p>
事務局	<p>現在、一番公民館に在籍期間が長い職員は6年目である。通常は3～4年で異動となっている。</p>
委員	<p>長く勤めている職員がいると地域づくりができやすくなると思うので考えてほしい。</p>
委員長	<p>人事の関係があるので、教育委員会内部で検討していただきたい。</p>
委員	<p>子ども会で、中学生を行事に迎えて指導してもらっていたことがあった。しかし、小学生の保護者から、小学生が</p>

委員	<p>リーダーシップがとれないから来てもらわない方がよいという意見がでて、中学生が行事に来なくなってしまった。非常に残念なことである。</p> <p>子ども会が無くなるのは地域にとって失うものは大きい。どうすれば地域の子ども会が存続できるのかを考える必要がある。事業をやって子どもを集めればよいというものではないと考える。自治会の一部として子ども会があれば、子どもを集めて行事を実施するというのが可能になると思う。</p>
委員長	<p>今回は結論を出すというのではなく、今後の子ども会の活動について、それぞれの立場で次回の会議でも意見や提案などを頂けたらと思う。</p>
教育長	<p>今日の委員の皆さまの協議を拝聴して、子ども会をとおして、地域コミュニティがつくられていっているということ強く思った。また、公民館、児童センター、大学、坂戸市文化団体連合、体育協会、スポーツ推進員、西入間青年会議所など、様々な子どもを育む場所があると感じた。社会教育委員の皆さまには、地域の子どものをどのように育てていくか、今後も一緒に考えて頂ければと思う。</p>
委員長	<p>以上をもって協議を終了する</p> <p>※ 傍聴者退出</p>
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度第3回坂戸市社会教育委員会議の日程について</li> <li>・第26回入間地区生涯学習フォーラムの開催予定について</li> </ul>
副委員長	<p>5 閉会</p>